

平成29年度 新潟県立歴史博物館 講座のご案内

(前期:2017年4月～2017年9月)

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
5月14日	日	13:30～15:00	春季企画展・記念講演会 「黒猫奇譚(くろねこきたん) —今も昔も猫が好きな 芸術家たち—」	中右 瑛 氏 (国際浮世絵学会 常任理事)	「猫と人の200(にゃ～)年—アートになった猫たち」展の展示作品について、竹久夢二の作品を中心に、夢二と黒猫にまつわるエピソードを交えて解説します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、 FAX、メール
5月20日	土	13:30～15:00	国際博物館の日記念講座 「博物館のチカラ」	山本 哲也	博物館は何のためにあるのでしょうか？地域をつなぐため？文化財を守るため？それとも見せるため？ひとくちには言い表せない博物館の存在価値を「チカラ」ととらえ、考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
5月21日	日	13:30～15:00	春季企画展・記念講演会 「新潟県の猫伝説」	高橋 郁丸 氏 (イラストレーター・ 新潟妖怪研究所所長)	人を取って食べてしまう恐ろしい猫から、世話になったお礼に、自ら働きに出て恩返しをした健気な猫まで。新潟県内の猫伝説をご紹介します。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、 FAX、メール
6月3日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座① 「双子の考古学・民族学」	西田 泰民	双子は特別な意味のある出産だという認識が世界各地に見られ、双子についての習俗や伝説が知られています。これを考古学資料に結びつけることができるのか考察します。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
6月17日	土	13:30～15:00	「民俗収蔵庫見学会」	陳 玲	博物館の裏舞台の一つである民俗収蔵庫をご案内いたします。学芸員によって収集、整理され、民俗資料となった生活道具が、新たな姿で新しい発見を提供してくれます。見学会を通して民俗資料の基本的な見方を紹介します。	一般	15	研修室 館内施設	—	電話、葉書、 FAX、メール
6月24日 7月1日	土	13:30～15:00	「古文書講座 ～はじめての古文書～ 前編・後編」	井上 信	江戸時代の古文書に親しみます。古文書に全くふれたことがない人でも気軽に学べる講座です。	一般	35	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
7月8日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座② 「子どものための博物館 —その歴史と今—」	山本 哲也	社会教育施設である博物館は、本来あらゆる年齢層に対応するべきものですが、利用者層を意識したもの、中でも子どものための博物館(チルドレンズ・ミュージアム)が存在します。日本におけるチルドレンズ・ミュージアムや学校博物館の歴史、そして現在の様相を確認しながら、博物館が担う役割の一端を考えてみます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
7月22日	土	13:30～15:00	「縄をつくる糸をつくる」	宮尾 亨	縄文土器という名称をもたらした縄目文様をつくる様々な縄を紙テープでつくります。一見不合理に見えるような撚り方の様々な縄の撚り方を実習し、そのような縄の生まれた背景を考えます。また、縄文土器の文様との関わりについて考えている仮説を紹介します。	一般 親子	25	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
7月30日	日	13:30～15:00	夏季企画展・関連講座 「『むかしの暮らし』 の調べ方」	三国 信一	小学校の社会科で勉強する「昔の暮らし」。そのしらべ方や楽しさについて解説し、各参加者が持参した使わなくなった道具を題材に、「昔の暮らし」をどのようにしらべればよいか一緒に考えてみます。子ども向けですが、保護者の付添も可能です。(低学年の場合は、保護者の付添をお願いします。)	子ども 向け	15	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール

期日	曜	時間	講座名	講師	内容	対象	定員	会場	持ち物等	申込方法
8月5日	土	13:30～15:00	「指のレプリカを作ろう (夏の部)」	山本 哲也	レプリカって何？なぜ博物館にはレプリカが飾ってあるの？…そんな質問がよく聞かれます。実際に自分の指のレプリカを作る作業をとおして、レプリカというものを考えてみます。	一般 親子	20	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
8月6日	日	13:30～15:00	夏季企画展・関連講座 「どうぐのおぼけ MINGOO(ミンゴー)を 見つけよう！」	三国 信一	各参加者が使わなくなった道具を題材に、「どのように使ったか」「なぜ使わなくなったのか」「どんな思い出があるのか」などの情報をまとめ、その道具が「おぼけ」になったら、どんなおぼけになるのかを絵に描いて、ミニ展示会をおこないます。子ども向けですが、保護者の付添も可能です。(低学年の場合は、保護者の付添をお願いします。)	子ども 向け	15	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
8月26日	土	①10:00～12:00 ②13:30～15:30 ※開催時間注意	「作ってみよう 『本格まが玉』」	山本 哲也	一般に体験用として使う滑石(かっせき=硬度1)ではなく、やや硬い石材(硬度3)を使い、また、昔の製作技法も一部取り入れながら、ちょっと本格的なまが玉作りを体験します。なお、参加は「小学生以下と保護者の組み合わせ」で複数名での親子の参加を優先とします(一般=中学生以上は、開催前日までに、参加の可否を連絡します)。当館売店にて販売する「青田石(せいでんせき)」を購入してから参加して下さい。(当館ミュージアムショップにて300円での販売予定)	親子優 先 一般も 可	各回 20	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
9月2日	土	13:30～15:00	「明治英文旅行ガイド に見る新潟」	西田 泰民	明治14(1881)年に新潟県域を含めた初の英文旅行ガイドブックが刊行され、同書は大正2(1913)年の第9版まで改訂を重ねました。これを史料として、その間の新潟県域の交通路の発達や各町の様子、外国人が何を新潟に見たのかを探ります。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール
9月24日	日	13:30～15:00	秋季企画展・記念講演会 「信濃からみた 川中島合戦」	村石 正行 氏 (長野県立歴史館学芸員)	秋季企画展に関連した講演会です。戦国時代、上杉謙信と武田信玄が衝突した川中島合戦の実態について、長野県立歴史館の村石学芸員が信濃側の視点から読み解きます。	一般	150	講堂	—	電話、葉書、 FAX、メール
9月30日	土	13:30～15:00	シリーズ「子ども」連続講座③ 「戦乱の世と子どもたち」	前嶋 敏	戦国時代、子ども達が戦乱のつづく社会のなかで、子どもたちはどうしていたのでしょうか。上杉氏・長尾氏の戦争を中心にして考えます。	一般	50	研修室	—	電話、葉書、 FAX、メール

<申込方法・手続き>

・申込方法は、「電話」「葉書」「ファックス」または「メール」での申込となります。いずれも、希望講座名、お名前、住所、電話番号の4項目を明記してください。

* 講師都合等による実施日の延期(中止)ということもあります。その際、申込者にはご連絡をいたしますが、お申込されていない方へはご連絡できませんので、ご注意ください。

※ 申込先

〒940-2035 新潟県長岡市関原町1丁目字権現堂2247番2 新潟県立歴史博物館 経営企画課
TEL: 0258-47-6135 FAX: 0258-47-6136 メール: koryu@nbz.or.jp

※ お申し込みいただいた際の個人情報は、今後の講座や講演会・イベント等のご案内に使用させていただくことがあります。

携帯電話からの申し込みメールはこちらからのQRコードをご利用ください。

